（様式1-1）　※A4・1枚までで作成（必要な行を追加した場合はこの限りではない）　　

記入要領、記入例は削除して提出ください

**（　申　請　概　要）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 代表実施機関名称 | | ※共同実施機関がある場合は記入必須（２機関ある場合は、行を追加ください）。無い場合は行を削除ください。 | | | 機関の長 |  | | |
| 共同実施機関名称 | |  | | | 機関の長 |  | | |
| 事業プロモーターユニット | | 氏名 | 所属 | 役職 | ユニットにおける役割 | | | エフォート |
| 代表  実施  機関 | 代表事業プロモーター |  |  |  |  | | | ％ |
| 事業プロモーター | ※事業プロモーターの人数は代表実施機関及び共同実施機関合わせて最大８名を目安としています。  必要に応じて、行を追加してください。 |  |  |  | | | ％ |
| 事業プロモーター |  |  |  |  | | | ％ |
| アシスタント |  |  |  |  | | | ％ |
| 共同実施機関 | 事業プロモーター | ※共同実施機関がある場合は記入必須（２機関ある場合は、行を追加ください）。無い場合は行を削除ください。 |  |  |  | | | ％ |
| 事業プロモーター |  |  |  |  | | | ％ |
| ファンド  実績等 | ファンド名 | 氏名（担当者） | ファンド規模 | ステージ | 内部収益率（ＩＲＲ） | ＩＰＯ | Ｍ＆Ａ | 運用時期 |
| ｘｘｘ３号 |  | 億円 |  | ％ | 社 | 社 | ～ |
| ｘｘｘ２号  ※運用中のファンド、組成中のファンド、ファンド運用実績について記入してください。行を追加し、記載いただいてかまいません。 |  | 億円 |  | ％ | 社 | 社 | ～ |
| ｘｘｘ１号 |  | 億円 |  | ％ | 社 | 社 | ～ |
| 事業  育成  モデル  概要 | ・ｘｘｘ ・ｘｘｘ  ※ＳＴＡＲＴ事業プロモーターユニットとして、大学等の技術シーズをもとに、成長価値の高い大学発ベンチャーを創出するための事業育成モデルを簡潔に記載ください。とくにＳＴＡＲＴで創出した大学等発ベンチャーが民間資金調達を得て、成長ステージに進むための方策などがあれば強調ください。  ※「研究開発」の育成ではなく、「事業」の育成についての説明欄なので、ご注意ください。 | | | | | | | |
| 補足  説明 | ・ｘｘｘ ・ｘｘｘ  ※ファンドに関する補足、活動実績に関する補足事項などを記載ください。  ※事業化に資する事業会社や起業家等の各種ネットワークの活用など、独自の強みがあれば記載ください。 | | | | | | | |

記入要領、記入例は削除して提出ください

（様式1-2）　※A4・１枚までで作成

**（事業プロモーターユニットの概略図）**

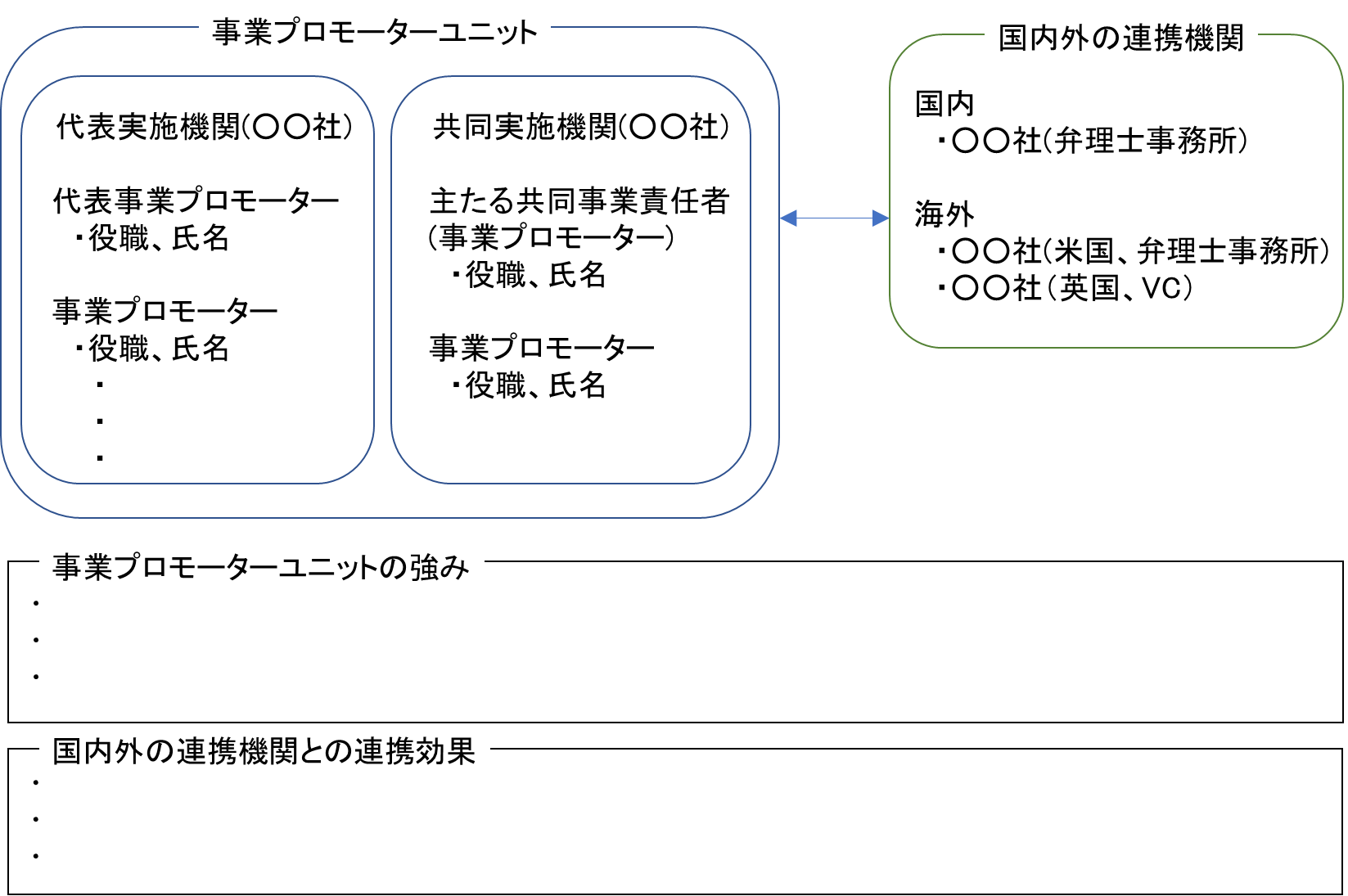
※大学等発ベンチャー創出に向けた事業プロモーターユニットの「体制」、「国内外の連携機関」、「強み」等について、イラストや図等を用いてＡ４・１枚で説明してください。

※「①事業プロモーターユニットの体制、各事業プロモーターの役職・氏名、国内外の連携機関」、

「②大学等発ベンチャー創出に向けた事業プロモーターユニットの強み、連携機関との連携効果」、

を必ず記入ください。

概略図の例



(様式1-3)※A4・１枚までで作成

記入要領、記入例は削除して提出ください

**（　事　業　育　成　対　象　）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 育成分野 | ライフサイエンス | アグリカルチャー | 環境・エネルギー | ナノテク・材料 | 情報通信・データ | その他 |
| 重点対象 | ※重点的に取り組む分野に「◎」を記載（複数可）、対象とする分野に「○」を記載（複数可）、扱わない分野は「空欄」 |  |  |  |  |  |
| 具体対象  技術分野 | ※具体的な技術分野を記載（例：ビッグデータ、IoT、AI、先端計測、ソフトウェア、医療機器、化粧品、水産加工 等） |  |  |  |  |  |
| 補足  説明 | ※全てを対象分野とする場合、品質を担保できる背景など強調すべき内容があれば具体的に記載ください。  ※対象分野を限定する場合、その分野における独自性や優位性などの強調すべき内容があれば具体的に記載ください。 | | | | | |
| 育成地域 | 北海道・東北 | 関東甲信越 | 中部・北陸 | 関西 | 中国・四国 | 九州・沖縄 |
| 重点対象 |  |  |  |  | ※重点的に取り組む地域に「◎」を記載（複数可）、対象とする地域に「○」を記載（複数可） |  |
| 補足  説明 | ※重点対象とする地域を限定する場合、その地域における独自性や優位性があれば具体的に記載ください。  ※事業育成等の難しい地域において、地域経済の発展に寄与するための方策などがあれば是非記載ください。 | | | | | |

記入要領、記入例は削除して提出ください

（様式1-4）※１機関につきA4で３枚まで（共同実施機関が２機関の場合３機関×３枚＝９枚まで）で作成

**（代表実施機関/共同実施機関 組織の略歴・実績等）**

（１）事業プロモーター実施機関

会社名：

代表者名：

設立日：　西暦　　年　月

上場有無：　有（西暦　　年　月）　／　無

役員数：　　名

社員数：　　名（単独）／　　名（連結）

資本金：　　百万円（単独）／　　百万円（連結）

※主要株主の名称と持ち株比率を記載ください。

主要株主：　ＸＸ（　％）、ＸＸ（　％）、ＸＸ（　％）

主要取引銀行：

主要関係会社：

※官公庁などから補助金などをうけた実績がある場合は簡潔に記載ください。

国の事業への関わり：

事業プロモーター実施機関としての概要：

※事業プロモーター実施機関のビジネスに関する概要、活動分野・内容等について記載ください。

※特に、ベンチャー設立支援、上場支援等を通じた新産業の創出、新規マーケットの開拓に関する事業がある場合は具体的に記載ください。

（２）機関におけるファンド運用実績等

※最大１０件まで運用実績、組成中の取り組みなどを記載ください。

※個人として別の組織などでの実績は、（様式1-5）に記載いただきますので、本項は申請機関の実績を記載ください。

ファンド名：

ファンド規模：　　億円

内部収益率（ＩＲＲ）：　％

投資ステージ：

投資件数：　　　件

ＥＸＩＴ件数：　　件（うちＩＰＯ　件、Ｍ＆Ａ　件）

※「投資機能」には、設立するベンチャーへの投資手段（例：自社の運用しているｘｘファンドから投資可能等）を記載してください。

運用時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

投資機能：

補足事項：

※「補足事項」には、シード段階のハンズオン支援等の実績や、ファンド運営に関連する活動、制限等、補足すべき事項あれば記載ください。

３）ＳＴＡＲＴへの関与

※組織として２回目以上のＳＴＡＲＴ事業プロモーター実施機関としての申請を行う場合、前回の活動期間における経験を踏まえ、さらに前進、進化させたいと考えている内容を記載ください。

※これまで関わった国の事業の経験をSTART事業プロモーターとして活かすことができる組織としての工夫等があれば記載ください。

※ＳＴＡＲＴを経験した者が在籍する場合、その経験をいかに組織として活用すべく取り組んでいくか等も記載ください。

（４）他制度での助成等の有無（国外のものを含む）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **受給**  **金額** | **期間** | **役割**  **（代表機関/分担機関等）** | **本申請との切り分け** |
| 例 | 20xx年度○○支援△△事業 | 申請/受給 | 25,000千円(19年度) | 2019.4-2021.3 |  |  |
| １ |  |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |  |

※国、独立行政法人が運用する競争的資金や、その他の研究助成等（国外のものを含む）を受けている場合（応募中を含む）には、制度名、受給状況、受給金額、期間、役割（代表者／分担者等））及び本申請との切り分けを記載ください。

※「受給状況」は以下のいずれかを記入してください。

受給：現在受給中または受給が決定している課題。

申請：申請中または申請予定の課題。

以上

記入要領、記入例は削除して提出ください

（様式1-5）　１名につきA4で２枚まで（８人の場合は１６枚まで）で作成

**（代表事業プロモーター/全事業プロモーター　個人の略歴・実績等）**

※事業育成の実績に関して、担当した投資先や大学等から、活動実績等を裏付ける書類等がある場合は、別途、添付することも可能です。

（１）事業プロモーター

※「専門分野」は事業プロモーターとして強みを有する分野（例、知財戦略構築）について記載ください。

※卒業年月以降、企業勤務年月など事実を省略せずに記載ください。即戦力の事業プロモーターとして活動できる職務経験や実績があれば、その内容を強調して記載ください。

※エフォート率とは全仕事時間に対する事業プロモーターとしての活動に必要とする時間の配分割合を意味します。全仕事時間は事業プロモーターとしての活動に係る時間のみならず、所属機関において従来業務に係る時間が含まれます。

氏名：

生年月日：　西暦　　年　月　日（　　歳）

所属機関：

役職：

専門分野：

学歴・職務経歴等：

事業プロモーターユニットにおける役割：

事業プロモーター活動のエフォート率： 　％

（２）ファンドマネジメント実績

ファンド名：

※無限責任組合員（ＧＰ）として運用した実績を記載ください。

※責任者として運用した実績を、経験者のみ、直近のものから全て記載ください（経験がない場合、本節の小項目を削除の上、「特に無し」と記載ください）。複数の実績がある場合は、全て記載ください。法人としての実績は、（様式1-4）に記載いただきますので、本項は個人の実績を記載ください。

※「補足事項」には、ファンド運営の実績に関し補足する必要がある場合や、ファンド運営に関連する活動等があれば記載ください。

ファンド規模：　　億円

内部収益率（ＩＲＲ）：　％

投資ステージ：

投資件数：　　　件

ＥＸＩＴ件数：　　件（うちＩＰＯ　件、Ｍ＆Ａ　件）

運用時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

（３）投資先の事業育成に関する実績

※実際に投資先を担当した具体的事例を直近のものから最大３件まで記載ください（経験が無い場合、本節の小項目を削除の上、「特に無し」と記載ください）。

担当した会社名：

投資ステージ：

活動内容及び役割等：

※「活動内容及び役割等」にはハンズオン支援の実施による事業化支援等により、ＩＰＯやＭ＆Ａを実現したなど、事業育成に関する実績があれば記載ください。

※経営陣のリクルートや事業会社との連携、関係する大学等があった場合はその旨を記載ください。

※取締役会等（ボードメンバー等）に入っていた場合や、リードとしてハンズオン支援を実施していた場合は、具体事例について記載ください。

ＥＸＩＴ：

育成担当時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

※活動実績に関して、補足すべき内容があれば「補足事項」に記載ください。

（４）シード段階等における大学等の事業育成に関する実績

※とくに創業前段階や、シード・アーリー段階において、実際に大学等の研究成果をもとにしたベンチャー設立、共同研究などにより社会還元を行った経験や、企業において新規事業を立ち上げた経験などがあれば、具体例を直近から最大３件まで記載ください（経験が無い場合、本節の小項目を削除し、「特に無し」と記載ください）。

担当した大学等名：

活動内容及び役割等：

※「活動内容及び役割等」には、起業前段階の大学等の技術シーズの創業に向けた支援活動や、企業における新規事業の立ち上げにおける主導的役割など、企業前段階からシード・アーリー段階における具体的な活動内容、役割などを記載ください。

成果：

担当時期：　西暦　　年　月～西暦　　年　月

補足事項：

※大学等との活動実績、シード・アーリー段階での事業育成において主導した実績で補足があれば「補足事項」に記載ください。

（５）保有するネットワーク等の状況

※即戦力の事業プロモーターとして活動する際、活用できる事業会社、専門人材のネットワークを記載ください（無い場合、記載不要）。

※創出を目指すベンチャー企業のグローバル市場への展開を見据え、新規事業、新規マーケットの開拓、知財戦略などについて重要な貢献を果たすネットワークなどがあれば記載ください（無い場合、「特に無し」と記載ください）。

（６）その他、補足事項等

※投資ファンドの責任者を兼務しており、有限責任組合員（LP）との間で職務専念義務などの制約を負っている場合、本事業に関わることによって生じる可能性のある利益相反の問題について、整理の状況、対応方法などを説明ください。

※公開前特許やノウハウなどの大学等の保有する技術シーズの情報管理について、社内規定、情報管理運用の実績などを整備している場合、その内容を記載ください。

※その他、実績・資質等を説明する上で、補足すべき事項がある場合は自由に記載ください。

以上

記入要領、記入例は削除して提出ください

（様式1-6）　※A4・３枚までで作成

**（　事　業　育　成　モ　デ　ル　）**

（１）事業プロモーターユニットとしての基本方針

※事業プロモーターユニット活動における基本方針について、次の項目を含めて、

記載ください。

・応募理由と目標

・目標達成のために必要な活動内容

（２）事業プロモーターユニットの起業前段階・シード段階からの事業育成の考え方

※起業前段階・シード段階からの事業育成に対する課題認識、活動理念などを記載ください。

※事業プロモーターユニットとして、実施する予定の活動、今後強化が必要と考える活動などもあわせて具体的に記載ください。

（３）事業プロモーターユニットとしてのプロジェクト育成目標（５年全体）

※事業プロモーター実施期間終了時（５年後）の事業の達成目標について、各活動段階における定量的で検証可能な目標を記載ください（例：５年間で○件以上の技術シーズを発掘し、○件以上のデューデリジェンスを実施して推進委員会に申請し、○件以上のプロジェクト採択を目指す。採択プロジェクトについてマイルストン管理を行い、投資対象と出来ない場合、中止等の必要な措置を行う。成長価値の高い大学発ベンチャーを○件以上創出し、○億円以上のリスクマネーの獲得を目指す）。

（４）事業育成モデル：技術及び知財マネジメントにおける独創性及び優位性（強み）

※技術マネジメントの実績や知財戦略の構築実績、各技術分野の専門家とのネットワーク等、技術マネジメントの観点から事業育成モデルの独創性や優位性について記載ください。

※許認可審査への対応が重要な技術分野などを扱う場合、その対応方策があれば記載ください。

※大学等の保有知財に限らず、設立を目指す大学等発ベンチャーの技術、知財という観点もご留意ください。

（５）事業育成モデル：グローバル市場への展開における独創性及び優位性（強み）

※グローバル市場への展開に関する優位性や国際的なネットワークの活用等に関する事業育成モデルの独創性や優位性があれば、具体的に記載ください。

（６）STARTで設立する大学等発ベンチャーへの資金調達に係る戦略及び計画

※STARTで設立するベンチャーへリスクマネー等を誘引するための戦略・計画について記載ください。その際、具体性、実現可能性についても述べてください。資金獲得にかかる優位性もあればあわせて記載ください

※ＳＴＡＲＴ事業プロモーターとして、設立しようとするベンチャー企業に対し、投資を行う具体的な投資機関（自社を含む）を想定している場合や資金調達に向けて連携する企業があればあわせて記載ください。

（７）代表・共同実施機関の機関としての優位性

※事業プロモーターユニットでの代表・共同実施機関の他部門との連携、関連会社との連携など、事業プロモーターユニット活動の品質、活動量を補完、強化する内容があれば具体的に記載ください。

※代表・共同実施機関が有する強み（例：株式上場のサポート、代表実施機関が有する事業会社とのアライアンス、起業家、技術人材等のネットワーク、他部門と連携した販路・海外市場の開拓）について、事業プロモーターユニット活動において実際に活用できる優位性があれば、具体的に記載ください。

※事業プロモーターユニットが活動を行うにあたり、具体的に連携を想定している機関や人材がいる場合は、当該機関、人材の経歴・実績や本事業における役割などを記載ください。

（８）事業育成モデルについてのその他補足説明

※事業育成モデルに関する独創性や優位性について補足する必要があれば、本項に自由に記載ください。

以上

(様式1-7)※A4・１枚までで作成

記入要領、記入例は削除して提出ください

**（　大　学　等　と　の　連　携　）**

1. **大学等との連携実績**

※代表・共同実施機関として、これまでに大学等の研究開発機関のシーズの事業化に関わったことなど、連携実績やその他大学等との関係性について具体的に記載ください。

1. **STARTにおける大学等との連携の方向性**

※本事業において育成することを想定している具体的な連携機関やシーズが存在する場合、当該シーズの育成に関する大学等との調整状況等を記載ください。

以上

（様式1-8）※１人あたりA4・２枚まで

記入要領、記入例は削除して提出ください

**（技術シーズ調査レポート）**

※大学等の研究機関（研究室等）に実際に訪問して実施した技術シーズの調査経験や、事業プロモーターに採択された場合の技術シーズ候補の事前調査内容について、事業プロモーター１人につき１レポートを作成ください。活動経験のない事業プロモーター候補者は「具体的な経験なし」として提出いただいて構いません。

※共同実施の場合はレポート内でどのメンバーがどの内容を担当したのか明記ください。なお、秘密事項の記載は不要です。

調査を実施した事業プロモーター氏名：

調査対象の研究者名、所属：

調査の観点、方法：

※個人情報などの都合に応じ、研究者名は匿名でもかまいません。

調査実施内容：

※例えば、調査にあたっての準備内容、調査時の質問内容、研究室見学における着目事項などを記載ください。

調査結果：

※例えば、ベンチャー創出の観点からの技術シーズの特徴、解決すべき課題、ベンチャー創出にそぐわないと判断した場合は、その理由などを記載ください。

所感：

※調査対象の技術シーズに基づく、ビジネスモデル構築の可能性についての見立てなどを記載ください。見立てが難しい場合には、今後事業プロモーターとして調査すべき内容を記載ください。

※今後の方針なども記載ください。

代表事業プロモーターコメント：

※本調査レポートに関し、代表事業プロモーターからの、評価、コメント、メッセージ等を記載ください。

以上

記入要領、記入例は削除して提出ください

（様式1-9）　※A4・２枚までで作成

**（　事　業　実　施　計　画　）**

（１）事業プロモーター１年度目の活動

目標：

※事業プロモーターユニットとしての目的、趣旨と合致する当該年度の目標について、検証可能な目標（定量的指標を用いた目標）を設定し、それを達成するための具体的な計画について記載ください。

事業内容：

※目標を達成するために必要な活動内容等を具体的に記載ください。

※記載に当たり、実現可能性についてもご留意ください。

※目標達成に向けて、実施期限などスケジュールについても具体的に記載ください。

（２）事業プロモーター２年度目の活動

目標：

※共同実施機関を置く場合、目標は共通として記載ください。事業内容は実施主体がどの機関なのか明瞭に判別できるよう留意して記載ください。

事業内容：

（３）事業プロモーター３年度目以降の活動

目標：

事業内容：

以上

記入要領、記入例は削除して提出ください

（様式1-10）　※A4・１枚までで作成

**（　STARTに関する連絡先　）**

代表事業プロモーター

氏名　 ：

所属機関名　：

住所　 ：〒

電話　 ：

電子メール ：

主たる共同事業責任者

※共同実施機関がある場合、必ず記入ください。

共同実施機関が無い場合は削除ください。

氏名 ：

所属機関名　：

住所 ：〒

電話 ：

電子メール ：

主たる共同事業責任者

※共同実施機関が２機関ある場合、必ず記入ください。

共同実施機関が２機関無い場合は削除ください。

氏名　 ：

所属機関名　：

住所　 ：〒

電話　 ：

電子メール ：

以上